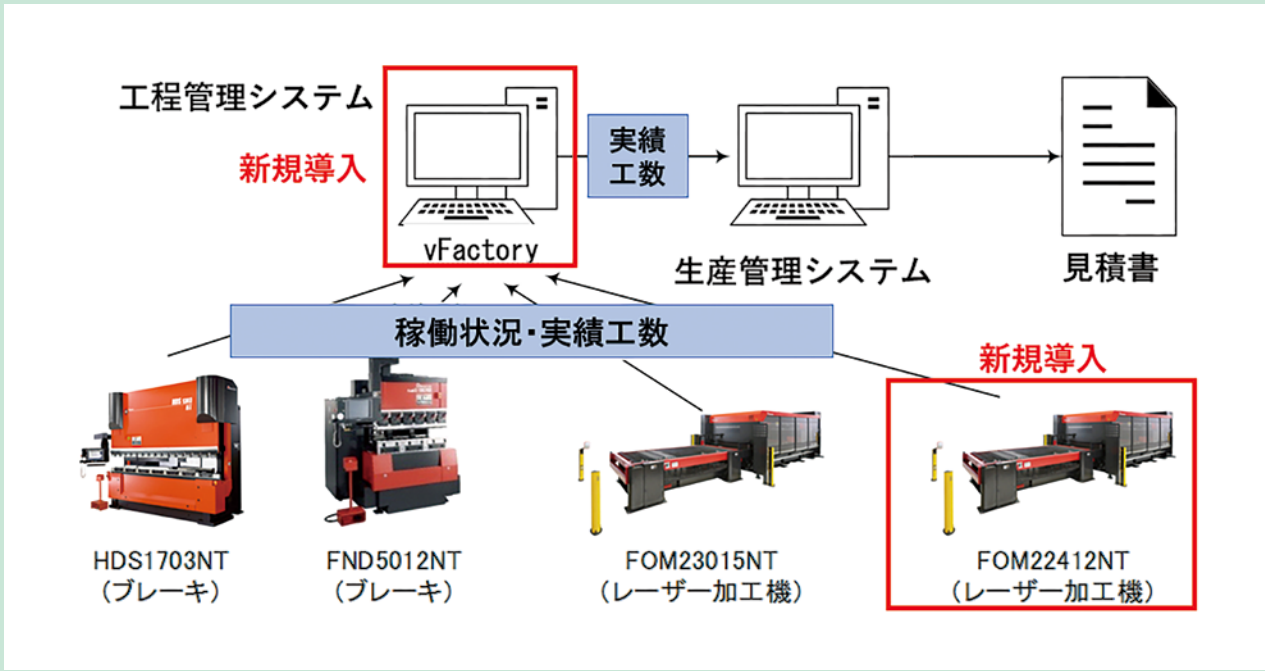


株式会社タニモト

対象類型／ものづくり技術 事業類型／高度生産性向上型・lot

最新のCAD/CAM、生産管理システム、加工機を導入しており、高い製品品質と業務の効率化の実現



設備と社内のネットワーク



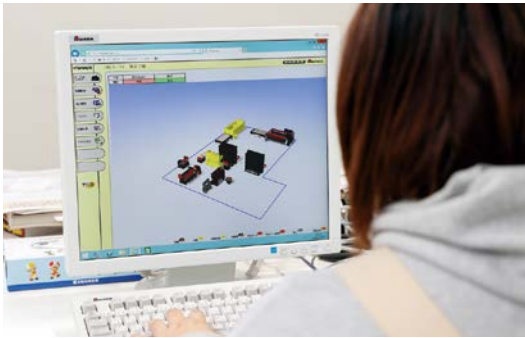
本事業で導入したレーザー加工機



IoTによる工場見える化と、顧客ニーズへの対応力の強化

point ものがポイント！

①この事業で新規導入した一品物・試作品専用のレーザー加工機は、出力が4 Kwありますので、ステンレスの場合、板厚6mm以上（最大12mm）の加工能力を増強することができました。この結果、量産品専用レーザー加工機への仕事の割り込みが無くなり、量産品、一品物・試作品双方の工程を乱す原因が無くなりました。②この事業で最新のレーザー加工機を導入したことにより、当社の加工機すべてがネットワークにつながり、リアルタイムの稼働データの収集ができる環境を整えました。③合わせて、工程管理システムで、保有全設備の稼働データを収集することで、リアルタイムでの工場見える化を実現しました。この結果、試作品の顧客から来る頻繁な進捗確認やスケジュール調整等の連絡に対して、事務所のパソコンの画面で確認できるため、迅速かつ正確に対応できる体制が整いました。また、工場の稼働率や、製品ごと、マシンごとの情報を分析することで、様々な改善活動につなげていく環境ができました。すべての機械の加工工数の実績データを取得できるようになり、以前は社長が経験により見積っていた工数を、実績データから見積れるようになつたため、見積りの正確性が増しました。



Future 今後の展望

本事業の一番大きい売り上げを予定していた分野は、高速鉄道車両関係の試作品加工でしたが、新型コロナウイルスの影響で、一気に無くなり、現在は、この分野の売り上げは、ほぼゼロになっています。しかし逆に、半導体関連や電池関連の設備向け試作品加工、工作機械向け試作品加工が好調で、高速鉄道車両関係の試作品加工の落ち込みをカバーしています。今後は、医療や介護向けの製品の部品製造に進出し、10年後には新しい事業の柱となるように取り組んでいます。具体的な取り組みとして、医工連携のものづくりのグループに参画して、顧客のニーズや研究開発動向などを探っている状況です。

Information

業界の好不況の影響をなるべく少なくするために、取引先や業界を1つに依存しない事業を心がけています。

当社は、顧客ニーズを満たすため、常に最新設備の導入を心がけ、技術を磨いております。また、IT技術の導入にも積極的で、進捗などの問い合わせに迅速な対応が可能です。加工できる材料は、スチールやステンレス、アルミです。異なる材質を加工することができる板金加工業者は当社の他にはあまりありません。合わせて溶接や製缶加工も可能です。また、多品種少量に対応できることや、いろいろな業界とのお付き合いがありますので、様々なノウハウが蓄積されていることが当社の強みです。企業同士のお付き合いは、男女や友達の関係と似ていると考えております。調子の良いことばかり言っている友達は、いつの間にかいなくなります。

当社は、面白みは無いですが真面目に取り組んでおります。今までのお客様やパートナーとは、ちょっとずつ仕事を増やしながら、長く仕事が繋がっている関係がほとんどです。このような当社を信用してもらい、長くお付き合いのできるお客様やパートナーを求めています。



代表取締役

谷本 一彦

株式会社タニモト

代表取締役／谷本 一彦
資本金／1,200万円
従業員数／13名
設立年月／1992年12月
事業内容／板金加工、製缶加工
住所／滋賀県栗東市六地藏1151番地
連絡先／ TEL.077-552-1784
FAX.077-551-0754
代表E-mail／info@tanimoto-net.co.jp



<http://www.tanimoto-net.co.jp/>